

ハートライナー倶楽部

# Heartliner Club

皆様のヨーロッパ生活を応援する NX (NIPPON EXPRESS) の会報誌

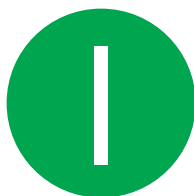
欧州版

vol. 186

January 2022

心も身体も温まる、自然に包まれた  
首都ヘルシンキ（フィンランド）





Heartliner Club

ハートライナー倶楽部

vol.186 January 2022

表紙：セウラサーリ島にある歴史的建造物のインテリア

写真：© Yiping Feng and Ling Ouyang / Helsinki Marketing

新型コロナウイルス（Covid-19）の影響で、アトラクションやレストランなどの営業時間、イベントの開催時期が変更されている場合がございます。事前にご確認ください。

### 03 Travel

## 心も身体も温まる、自然に包まれた 首都ヘルシンキ〈フィンランド〉



### 07 Europe Now

#### ヨーロッパで活躍する日本人

フランス ● 「パリを拠点に活動する田根剛氏」

ドイツ ● 「バレエダンサー、川端千帆氏」

ベルギー ● 「アーティスト、ジュン・ゴブロン氏」

チェコ ● 「陶芸家、にしだやすよ氏」

スペイン ● 「サムライチューハイ創業者、林侑紀江氏」

イタリア ● 「コロナ禍が転機、徳吉洋二シェフ」



### 13 Wine

#### 今月の1本

ドメーヌ・アンドレ・エ・ミレイユ・ティソ、  
シャトー・シャロン・ヴァン・ジョーヌ（白ワイン）



### 14 Healthy Life

#### なるほど！ヘルシーライフ

新たな年に新たな目標を



### 15 Do you know?

#### ご存じですか？

郵便制度の始まり

NX 欧州（旧・欧州日本通運）Heartliner Club 事務局

総合問い合わせ先：

（国番号）**49 (0)211 90495 0**

ご住所の変更や購読中止など、購読についてのご連絡は、  
裏表紙にあるお住まいの地域の支店までご連絡ください。

発行者：NX欧州（旧・欧州日本通運）

【掲載記事および広告掲載に関するお問い合わせ】 編集・制作 A Concept Limited e-mail: HLC@a-concept.co.uk

● 本誌掲載の記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

● 本誌に掲載されている広告内容に関して、発行者および編集者は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

● 掲載内容には万全を期しておりますが、取材後の変更等もございますので、ご利用される場合はご自身でご確認ください。尚、記事の内容をご利用されて生じた損失やダメージに関しては、発行者および編集者は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。





## 心も身体も温まる、自然に包まれた首都ヘルシンキ

オーロラやサンタクロースで知られる北欧の国フィンランドの首都、ヘルシンキ。国土の約70%を森が占め、約18万もの湖がある自然豊かなこの国は、サウナ文化の発祥地としても知られ、心も身体も温まる要素に溢れている。自然と共存し、どこか余裕のあるリズムで時を刻むヘルシンキは、訪れた人をいつも優しく包んでくれる。







3



2

## 優しさ感じる街を探索

最短ルートで日本と欧州を結ぶ国営航空会社フィンエアの拠点ヘルシンキ。日本でもお馴染みのアニメ『ムーミン』や、花模様が特徴的なファッションブランド「マリメッコ」とコラボした機体やアメニティが人気のフィンエアで訪れるのも、ヘルシンキへ行く楽しみの一つ。ヘルシンキ・ヴァンター国際空港は、欧州各地へのハブ空港としても機能しており、乗継利用の方が多くいるのである。欧州では珍しく案内板に日本語が併記されており、ささいな事だが安心感がある。なじみのあるキャラクターや言語だけではなく、いつも緊張感のある入国審査でも「ようこそ」とにこやかに言われてしまうと、もう旅の始まりからフィンランドに心を開いてしまう。

ヘルシンキは空港から市内中心地までのアクセスが鉄道やバスで30分前後と、コンパクトな都市。大きな荷物があるときはバスも便利だが、鉄道を利用して、ナシヨナル・ロマンチック様式建築の代表作であるヘルシンキ中央駅を最初に訪れるのもお勧めだ。駅の観光案内所はフィンランド全土の情報が豊富な上、対応が非常に親切なので、歓迎されているようで嬉しくなる。現代的なアートやデザインが世界的に有名なフィンランドだが、スウェーデンとロシアに挟まれさまざまな思想が反映された歴史ある建物も見どころ。特に国立博物館は部分的に異素材が使われている建築物で、フィンランドの歴史的变化が見られて面白い。

市内の観光地は徒歩で巡ることも可能だが、バスやトラム、地下鉄をお得に利用できる観光客向けのパスもある。ずらりとテントが並ぶ人気の野外マーケット広場へは、中央駅から徒歩圏内。早朝から、新鮮な食材やその場で食べられる軽食、土産物などが売られており、お店の

人にお勧めを聞いてみるのも楽しい。近くのレンガの建物「オールドマーケットホール」では、北欧ならではのトナカイの肉や新鮮な魚などを使ったお惣菜が売られている他、同じマーケット内のカフェでは、フィンランドのおいしいコーヒーも楽しめる。ユネスコによれば、フィンランドは世界一ピュアな水がある国で、首都のヘルシンキでも問題なく水道水が飲める。そのためか、コーヒーやスープなど水を使うものがとにかくおいしく、これは施設の清潔さにも関係しているのかもしれない。

## サウナで心も身体もポカポカ

フィンランド語で「蒸し風呂」を意味するサウナは2000年以上の歴史があり、何世紀にもわたってこの国の生活に欠かせない習慣となっている。各家庭やホテルにはもちろん、国会議事堂にもあるほど身近な存在。フィンランドではサウナは心と身体を浄化する場とされ、一人で訪れたり、友人と訪れたり、そのときの自分に問いかけ癒される場所。樺の木の香りに包まれる空間は日本の檜風呂を彷彿とさせるが、大きな違いは、お湯が無いことと温めた身体を湖やプールでクールダウンすることだ。せっかく温めたのにクールダウンするなんてと思うかもしれないが、不思議な事に、血行が促進され内側から本当にポカポカするのだ。思うがままに出たり入ったりを繰り返すのがフィンランドサウナの醍醐味。

「アラスシープール」はヘルシンキの中心地、マーケット広場からほど近い場所に位置する都会のオアシスサウナ。街のランドマーク的存在である大きな建物には、3つのサウナと2つの温水プールの他、海水プールが1つあり、プールからの街と海辺の眺めが最高だ。地元の人も多く訪れており、使い方が分からないと親切に

英語で教えてくれる。普段シャイで控えめだといわれるフィンランド人も、サウナではとてもオープンでお喋り。地元のお勧めのレストランやスポーツ情報を手でできることもしばしばなので、旅の始まりをサウナにするとよいかもしれない。

大自然の中で昔ながらのサウナを体験したい方には、マーケット広場からフェリーですぐの「ロンナ島」にある海辺のサウナも良い。小さなロンナ島には飲食店もあり、まさにサウナをゆっくりと満喫するための島である。

サウナの歴史を辿りたい方はフィンランド最古のサウナである「ラヤポルティン・サウナ」がお勧め。ヘルシンキから電車で2時間ほどの街タンペレにあり、薪を使った伝統的な方法や中庭の心地よい空間が、老若男女問わず人気である。観光客も多いので、利用方法や現地の習慣などに気にならず気軽に訪れてほしい。

## 自然が詰め込まれた室内

サウナの後はお腹が空く。サウナの休憩中に名物のソーセージなど軽食を食べるのも良いが、ヘルシンキに溢れる洗練された雰囲気のレストランやカフェに行ってみてはどうだろう。寒い日に食べたくなるのは、身体に染みる濃厚なサーモンスープ。カフェタイムなら、コーヒーとシナモンロールなど甘いモノにも惹かれる。どれも、素朴で温かみのあるフィンランドでしか味わえないおいしさだ。街の中心にはおしゃれな空間が広がる「ロバーツコーヒー」もあるし、少し足を延ばして海辺の「カフェレガッタ」でゆっくり過ごすのも良い。

しかしどこに行っても、味だけではなく、可愛い食器やインテリアも目をひくのがヘルシンキ。長い冬も心豊かに過ごせるよう、自然をモ





## 世界一の図書館を訪ねる

チーフにしたデザインで屋内が彩られている。家具はシンプルな美しさと長く使えるものを愛用し、テキスタイルや食器でオリジナリティーを加える人が多い。フィンランド食器の代表格である2つのブランドの博物館「イッタラ&アラビアデザインセンター」では、湖や水のしずく、森の季節の花々など、この国の豊かな自然にインスパイアされた心躍るデザインの食器が並んでいる。お土産にもピッタリの森の妖精「ムーミン」が描かれたマグカップなどもある。美しいフィンランドの自然が描かれた食器を、併設ストアでついつい旅の思い出に買い込んでしまいたいそう。

国際図書館連盟により世界一に選ばれた「ヘルシンキ中央図書館オーディー」は、誰でも利用できる多目的ホールや映画館が併設された図書



館だ。曲線が非常に特徴的な建物は、市民の直接投票で選ばれた地元の建築事務所がデザインした。施設のあり方に関しても、読書や勉学に集中できる場でありつつ、創造性を育む活動的な場でもあるべきだという市民からの声を尊重している。消費ではなく循環させる図書館の機能は、モノを大切にするフィンランド人の文化そのものを象徴しているかのよう。1986年までヘルシンキ中央図書館として機能していた「リクハルディンカトゥ図書館」もまた、北欧初の公共図書館として今でも愛され続けている。世界一といわれるフィンランドの教育には、市民に多くの学びの機会を与え続けている図書館が役買っているようだ。

フィンランド人は利便性を追求するだけではなく、自然に包まれて生きることの豊かさを知っているよう。それは緑豊かなヘルシンキの街並みや日々の生活空間に表れているのだが、子どもの絵本も例外ではない。日本語訳もされている『風と出会う日々』は、日本企業にもデザインを提供しているアーティストのハ

日本語対応だから安心。海外、及び国内引越、そして事務所の移転も私たちにお任せください

# NXトルコ (旧・トルコ日通)

[www.nipponexpress.com/moving/tr](http://www.nipponexpress.com/moving/tr)



**Nippon Express (Istanbul)**  
**Global Lojistik A.S.**

**Istanbul Dunya Ticaret Merkezi**

A2 Block Kat 15, No: 444, 34149

Sevketiye Mh. Bakirkoy Istanbul Turkey

T: +90-212-465-6934 (内線: 15/19/20)

E: [NETR-Removal.Istanbul.Mail.Group@nipponexpress.com](mailto:NETR-Removal.Istanbul.Mail.Group@nipponexpress.com)



1 大自然の中でサウナが楽しめるロンナ島 2 ヘルシンキ中央駅はナショナル・ロマンチック様式建築 3 軽食からお土産物までなんでも揃うマーケット広場屋内市場 4 日本でも馴染み深いムーミンのマグカップの展示 5 ヘルシンキ中央図書館オーディ。読書に没頭できる広々とした造りが特徴 6 日本語にも翻訳されている絵本『風と出会う日々』 7 スオメンリンナ島の要塞は世界遺産に登録されている 8 長さ150メートルの小さなロンナ島 9 素朴な味が人気のシナモンロール 10 アラスシープールから眺める夕日 写真：1・8 © Tommi Kortensniemi / Lonna、2 © Yiping Feng and Ling Ouyang / Helsinki Marketing、3 © Jussi Hellsten / Helsinki Marketing、5・6 © korvapuusti、7 © Kari Ylitalo / Helsinki Marketing、10 © Eetu Ahanen / Helsinki Marketing



何かと世界一といわれるフィンランド人の幸せの生活のヒントは、都会を囲む自然豊かな島々にもあるのかもしれない。

(西田 友美)

氷河期に形成されたフィンランドの群島は世界一美しいといわれ、ヘルシンキ周辺だけでも、人が住む大きな島から個人宅の庭程度の小さな島まで約300島ほどある。サウナやレストラン、宿泊施設などが整った島も多く、ヘルシンキ市民も都会の喧騒から逃れるためによく訪れる。陸路でつながっている「セウラサーリ島」では、可愛らしいリスたちが迎えてくれる。世界遺産に登録された要塞のある「スオメンリンナ島」はじめ、自然豊かな他の島々へもフェリーですぐに行くことができる。ヘルシンキの目の前にありながら、陸続きでないだけで不思議なほど独特な空気の流れる場所になる。ゆったりとした時間が流れる島で気ままに過ごし、澄んだ空気を吸うだけで、心が少し軽くなった気がする。

## 静かな島時間を楽しむ

ンナ・コノラさんの絵本。風とともに心地よく自然の中を散歩したり、風のように自然や時に身を委ね進むことの大切さを教えてくれるフィンランドらしいストーリー。子どもたちの想像力を育む話が色彩豊かなイラストで飾られているのも非常に可愛らしい。この絵本でつながったフィンランド人女性2人が立ち上げた絵本専門出版社「エタナエディションズ」と、この本のために出版社「コルバプスティ」を立ち上げた日本人の武田真理さんの出会いも、心温まる絵本の裏側のお話。見るだけでも楽しめる可愛いフィンランドの絵本を、世界一の図書館で探してみてもいいだろう。

● フィンランド観光局／ヘルシンキ  
www.visitfinland.com/helsinki





1 エストニア国立博物館 2 コンコルド広場にあるオテル・ド・ラ・マリニエ 3 Restaurant KEI 4 田根剛氏 写真: 1 © Propapanda / image courtesy of DGT., 2 © Jean-Pierre Delagarde / Centre des monuments nationaux, 3 © Vincent Fillon, 4 © Yoshiaki Tsutsui



[ フランス ]

## 建築の未来を担う気鋭の建築家

# パリを拠点に活動する田根剛氏

### INFORMATION

アトリエ・ツヨシ・タネ・アーキテクツ  
Atelier Tsuyoshi Tane Architects  
<https://at-ta.fr>

フランスでは日本人建築家の活躍が目覚ましい。安藤忠雄、隈研吾、SANNA、坂茂、藤本壮介などによる建築が見られるパリでは、2017年に「パリの日本建築」展が開催されたほどだ。中でも、最も注目すべき若手建築家が田根剛氏。昨年11月、コンコルド広場を象徴する建物「オテル・ド・ラ・マリニエ」のギャラリ設計を手がけた。18世紀、フランス国王ルイ15世により建設され、2015年までは海軍省として使用されてきた。これまでに一般には無縁だった歴史的建造物が、4年がかりのリノベーションの末に、18世紀のフランス装飾芸術の見学スペースやレストランを備えた館として生まれ変わった。

カタール王国アル・タニ殿下個人による、エジプト、マヤ文明、ムガル帝国など古代文明の蒐集品が展示されているギャラリにも携わった田根氏は、「それぞれの土地や場所には蓄積された記憶が刻まれている。それを掘り下げ、建築を通して未来につなげていきたい。」と語る。

国際的なデザインコンペで優勝したエストニア国立博物館は、旧ソ連の軍用滑走路を再利用した大胆な建築だ。室内建築も担当し、虎屋パリ店、三つ星レストラン「KEI」など、いずれもその場のエスプリを汲み取り見事な世界観を作り上げた。世界中で複数のプロジェクトを同時進行させる、田根氏の今後に注目したい。(魚住 桜子)

## イギリスで学ぶ

様々な文化交流活動を通して  
歴史に裏打ちされた真の国際教育を実践

※Covid-19の影響により、変更することがあります。本校ホームページで募集要項をご確認ください。

【入試情報】※詳細は募集要項をご確認ください。  
【高等部・中学部 B日程入試】 選考期日: 2022年1月23日 於: 立教池袋中学校・高等学校(予定)(中学部は英国本校受験も可)  
出願期間: 2022年1月5日(水)~2022年1月14日(金) 必着  
【2022年度 4月編入】 出願期間: 2022年1月3日(月)~2022年1月7日(金) 必着(募集人数: 若干名)

**RIKKYO SCHOOL IN ENGLAND**

**立教英国学院**

Guildford Road, Rudgwick, West Sussex RH12 3BE  
Tel: +44(0)1403 822 107 Email: [eikoku@rikkyo.uk](mailto:eikoku@rikkyo.uk)  
詳しくはHPをご覧ください。 [www.rikkyo.co.uk](http://www.rikkyo.co.uk)

**本格的ICT化**  
一人一台のラップトップ  
全教室にインタラクティブボード  
校内全域Wifi完備

オンライン  
個別相談随時実施中

- 小学部5年から高等部3年まで、男女共学・全寮制
- 自然に恵まれた広大なキャンパス
- 徹底した少人数教育によるきめ細かい指導
- 日本の教育とイギリスならではの英語教育を両立
- 希望者は各学期ケンブリッジ大学での研修可
- イギリスの大学への進学も積極的にサポート
- 立教大学に約半数が推薦入学、他大学推薦枠も多数

**充実した異文化交流プログラム**

地元 Collyer's Collegeとの教育連携、Cambridge大学研修、UCLロンドン大学研修、Cambridge大学Science Workshop、年3回のHome stay、現地校短期留学など。

急な海外赴任の場合には、編入学についていつでもご相談下さい。



# Germany

1 振付師が、男性とのデュエットの稽古をつけているリハーサル風景 2 ホメロスの叙事詩『オデュッセイア』をモチーフにした公演の本番 3 1787年から続く歴史あるコブレンツ市歌劇場の内部 写真：© Arek Glebocki



## INFORMATION

川端千帆ブログ「踊るドイツ」  
<https://riverside-germany.com>

コブレンツ市歌劇場  
**Theater Koblenz**  
[www.theater-koblenz.de](http://www.theater-koblenz.de)

【ドイツ】

## チャンス逃さず自ら切り開いたバレエダンサーの道 バレエダンサー、川端千帆氏

母親の勧めで3歳から大阪のバレエ学校に通い始めた川端千帆氏。ドイツ中部ライン地方コブレンツ市歌劇場に所属するバレエダンサーとして活躍中だが、少女時代はプロになれるとは思っていなかったという。

転機は2度。最初は国際コンクール審査員として米国からマイスターが来日したときに、彼女の通うバレエ学校が日本での予選会場だったという縁で、同校生徒のレッスンを見てもう機会を得た。マイスターへの敬意を表すため目線を5センチ上げて踊った彼女が掴んだのは、夏季集中講座6週間のニューヨーク行きだった。オーディションとは知らずにチャンスを手にした14歳の少女が見た米国。何もかも新鮮で刺激的だったが、自分が活躍できる場所ではないと感じた。帰国後、将来活動するなら欧州で、と考えた。

2度目の転機は、大阪のバレエ学校にシュトゥットガルトのバレエ学校の校長が特別講師として来日したとき。思い切って直談判をし、レッスンの後すぐに入学の許可を得た。ドイツへ発ったのは15歳の春だった。

1日7時間のトレーニングで研鑽を積み、身体感覚を修得。公演があると、振り付けの考案から始まり、練習を重ね、約1カ月半かけて完成させる。本番で芸術に化けるプロセスが好きという彼女が、今後どんな活躍をするのか楽しみでならない。

(シユピッツナーゲル典子)

◆海外引越・欧州域内／国内／市内引越 ◆事務所移転 ◆倉庫保管

心で運ぶ  
**ルートライナー**  
 日通の海外引越

ヨーロッパ各国から日本へ  
 他のヨーロッパ諸国へ  
 そして世界へ

From European Countries to Japan  
 To Other European Countries  
 And to the World

日本語でお気軽に  
 ご相談下さい。

「心で運ぶルートライナー」へのお申し込み・お問い合わせは、下記の支店・営業所まで電話かメールでお気軽に。  
 Email. NEDE-HEAR.LINER@nipponexpress.com [www.nipponexpress.com/moving/de](http://www.nipponexpress.com/moving/de)

NEX  
 NIPPON  
 EXPRESS

**NXドイツ**  
 (旧・ドイツ日本通運)

NIPPON EXPRESS (Deutschland) GmbH

●デュッセルドルフ(+49) (0)211-90495-0  
 ●ハンブルク/ベルリン(+49) (0)40-73112-194  
 ●ミュンヘン(+49) (0)89-37426-353

●フランクフルト/シュトゥットガルト(+49) (0)69-68974-584  
 ●ウィーン(+43) (0)1-7007-35411

●ブラハ(+420) 255-707-491  
 ●ワルシャワ(+48) (0)22-878-3208  
 ●ブダペスト(+36) (0)29-553-807



【ベルギー】

日本文化と北欧文化の融合

# アーティスト、ジュン・ゴブロン氏

## INFORMATION

ジュン・ゴブロン

Jun Gobron

www.jungobron.com

やどやブリュッセル

Yadoya Hotel Brussels

www.yadoyahotel.be

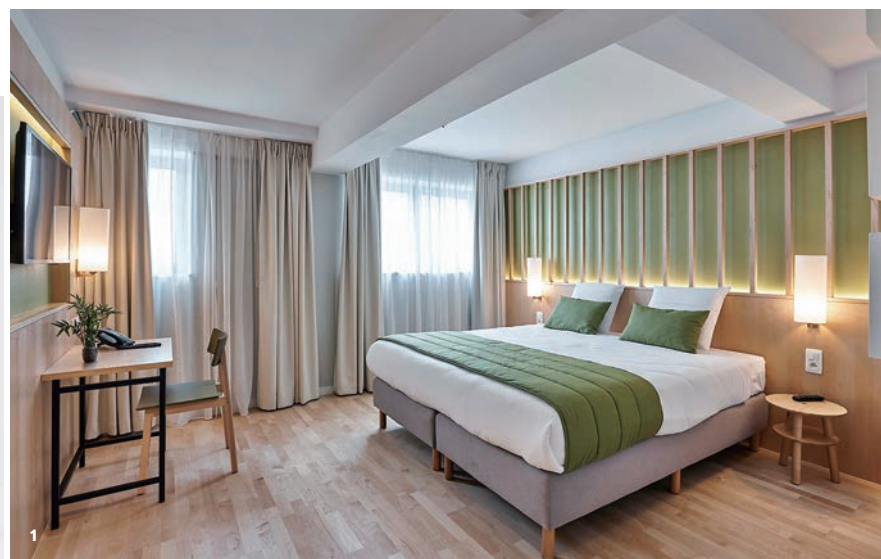
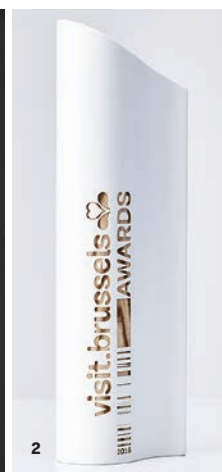
ジュン・ゴブロン氏は、ベルギー人の父と日本人の母を持つ、ブリュッセル在住のインテリアデザイナー。大学で経済学を修め、多国籍企業に就職。完璧なバイリンガルを活かし、日本市場担当として年に数回の出張や顧客とのコンタクトで数年を過ごす。しかし25歳のとき、幼少期から好きだった「物作り」への渴望が、美大入学と進路を変えさせた。水を得た魚のごとく創作力が花開き、卒業前に大手のインテリア会社への就職が決まるほどだった。

ミニマリズム（必要最小限）の作風は、デビュー当時から「和のアクセントがある北欧風の洗練されたデザイン」と多くのメディアに取り上げられた。ホテルに和風の内装を施す仕事では、インテリアをはじめ家具や照明、オブジェなどを担当。木がふんだんに使われた客室を間接照明と壁の行燈が柔らかに照らし、アクセントカラーの緑が心を和ませる。吹き抜けの中庭には坪庭が造られ、ホテル名もずばり「やどや」だ。他にも、ブリュッセル市からの依頼で制作した文化イベント用のトロフィーには、うるし塗りを施した。

現在は、母校で教鞭を執る他、ミラノやストックホルムなど有名展示会への出展、イタリア靴の名ブランド「フラテッリ・ロセッティ」とのコラボなど多方面で活躍。日本企業からのアプローチもあり、今後の活動はさらに広がるだろう。（宮崎 真紀）

## Belgium

1 「やどや」の落ち着いた内装 2 うるし塗りが施された、ブリュッセル市のイベント用トロフィー 3 ジュン・ゴブロン氏 写真：1 © Jan Verlinde、2 © Alexandre Bibaut、3 © studio Fiftyfifty



引越は私たちにお任せください。

## ベルギー海外引越

お問い合わせは下記までどうぞ

www.nipponexpress.com/moving/be

TEL +32 (0)2 751 7814 FAX +32 (0)2 751 9246

E-MAIL: NEBE-removal@nipponexpress.com

Bedrijvenzone Machelen Cargo 738/1

1830 Machelen, Belgium



Nippon Express Belgium N.V.

NX ベルギー (旧・ベルギー日本通運)





[ チェコ ]

# 日・チェコペアによるアートな器 陶芸家、にしだやすよ氏

## INFORMATION

スタジオポーセリン、ヴァラディミール・グロフ + にしだやすよ  
Studioporcelain Vladimir Groh + Yasuyo Nishida  
www.studioporcelain.cz

日本の美術大学を卒業後、2006年から本格的にチェコで活動を始め、現在はプラハから北西約60キロにあるロウニ市で暮らす陶芸家、にしだやすよ氏。作陶は、チェコ人のパートナー、ヴァラディミール・グロフ氏と共同で行う。

オブジェのような芸術的デザインのカップや、抽象絵画風に濃淡色の絵付けが施された皿が2人の代表作。日本とチェコの相異なる感性が交わり、実験的な遊び心と大胆なアイデアが見る者を驚かせてくれるユニークな作品の数々は、日本の信楽陶芸の森美術館をはじめ、台湾、中国、ドイツなど世界各国の美術館にも収蔵されている。アート作品であると同時に実用的でもある器の中には、和食にも洋食にも違和感なくなじむ食器の他、花器や多目的に使用できるものもある。

ヨーロッパの中央に位置するチェコからは、欧州各国どの国にも行きやすいため、毎年、フランス、ドイツ、オーストリアなどの陶芸フェアでの展示販売や、シンポジウム、アーティスト・イン・レジデンスなどにも積極的に参加している。

「陶芸という共通言語で国を越えて活動できるのはとても楽しい」と話すにしだ氏。15年を過ぎたチェコでの生活と、各地での人や物との出会いを通して発見した美しさを形にすべく、今後も制作を続けていく。

(金子 季乃)

# Czech

1 鮮やかな青が印象的なカップ 2 一つ一つで描かれる模様 3 オブジェのような花瓶と皿 4 足付きで生き物のようにも見える器 5 公私ともにパートナーのにしだやすよ氏とヴァラディミール・グロフ氏のお2人 写真: © studioporcelain.cz



**NX NIPPON EXPRESS** NIPPON EXPRESS (NEDERLAND) B.V.  
海外引越、国内引越、欧州内引越、事務所移転、ジェットパック、シーパック

お問い合わせ

## オランダ海外引越

### ★日本人スタッフご案内の安心引越

下見、輸出入手続きのご説明の際は必ず日本人スタッフが参ります。

### ★梱包!!! 何でもお任せ下さい

家具、家電はもとより、食器、ワインボトルまで、豊富な梱包資材で家財なら何でも梱包いたします。

### ★AEO認可取得

欧州進出の日系企業で初のAEO認可をオランダ税関から取得致しました。  
(AEO: Authorized Economic Operator)

オランダ税関からも認められました。

NXオランダ (旧・オランダ日本通運) アムステルダム引越センター AMSTERDAM REMOVAL CENTER: CONTOUR AVENUE 31, 2133 LD HOOFFDORP  
Tel: +31 (0)20-500-5200 Fax: +31 (0)20-500-5210 Web: www.nipponexpress.com/moving/nl E-mail: NENL-Removals@nipponexpress.com



# Spain



1 スペインの日本総領事公邸でサムライチューハイを紹介する林侑紀江氏 2 スペインで大人気のラーメンとも相性抜群 3 今後は若年層をターゲットにする方針のサムライチューハイ写真：© Samurai Chu-Hi



〔スペイン〕

オリジナルチューハイを委託生産・販売する

## サムライチューハイ創業者、林侑紀江氏

### INFORMATION

サムライチューハイ  
Samurai Chu-Hi

[www.samuraichuhi.com](http://www.samuraichuhi.com)

[www.facebook.com/samuraichuhi](https://www.facebook.com/samuraichuhi)

スペイン・バレンシア州でオリジナルチューハイを委託生産・販売する林侑紀江氏。結婚を機に移住したスペインには、日本のチューハイのようにさっぱりしたお酒がなかった。「それなら自分で作ろう」と、オリジナルチューハイを委託生産・出荷する会社「サムライチューハイ」を立ち上げた。

起業を決めてからは、望み通りの味を生み出してくれる飲料工場やそれを海外に輸出できる企業を探しながら、食品衛生法に基づく許可を取得するなど、やることが山積み。準備から2年後の2017年6月、サムライチューハイが発売された。

当初は缶だった容器を瓶に変えた際の、こんなエピソードがある。それまでは日本の業者に缶入りを生産委託しスペインに輸入していたが、容器変更を機に現地生産に切り替えた。けれどスペインではレシビ通りに作っても全く違う味に。「水が違うから同じレシビでも別なものになった」と林氏。何度も作り直しを依頼し、期待通りの味にしていく過程でさらにおいしく仕上げた。

コロナ禍の飲食店休業時には、行き場を失った商品を消費者に届けたいと、クラウドファンディングを活用し、チューハイファンを増やした。スペインだけでなく欧州各国に販路を拡大するため、現在は、小規模M&Aでマッチングできる企業を募集中だ。（ポッティング大田 朋子）

## スペイン海外引越

スモールパッケージサービス（航空便・船便）

お問い合わせは日本語でお気軽にどうぞ。

E-mail: [NEES-Removal@nipponexpress.com](mailto:NEES-Removal@nipponexpress.com)

NXスペイン公式 WEB サイトも是非ご利用ください。

[www.nipponexpress.com/moving/es](http://www.nipponexpress.com/moving/es)



NXスペイン（旧・スペイン日本通運）

Nippon Express de España, S.A.





## INFORMATION

[ イタリア ]

不屈の精神と発想力で前進を続ける

# コロナ禍が転機、徳吉洋二シェフ

リストランテ・トクヨシ & ベントーテカ・ミラノ  
Ristorante Tokuyoshi & Bentoteca Milano

Via S. Calocero, 3 20123 Milano

+39 340 8357453

www.bentoteca.com

時間：火～木 19:00 - 00:00

金～日 12:30 - 16:00・19:00 - 00:00

休：月

イタリアの三つ星レストランで副料理長として活躍後、独立。「リストランテ・トクヨシ」を開店した10カ月後には、イタリア料理店として日本人初のミシュラン一つ星を獲得した徳吉洋二シェフ。その人生は順風満帆に見えるが、実際はそうではない。何のつてもなくイタリアに飛び込み、電話をかけまくって修業先を見つけた。独立して店を成功させ、規模拡大のため改装オープンした昨年3月にコロナで休業。その間に大病も患った。数々の苦難から立ち上がり、店はイタリア食材を使った日本料理を自然派ワインと共に提供する「ベントーテカ」にシフトした。不屈の姿勢は考えるパワーから生まれたという。「やりたいうことを書き出してそこから可能性のあるものだけを選びながら最終案を出す。一度決めたらそのまま突っ走るのみです」。

今の店については「改装オープン直後にロックダウンになり、居ても立つても居られず医療従事者のために弁当を届けたのが、今の形態の始まりです。『日本をイタリアに持ってくる』のではなく、『イタリアで生まれた日本』をどう表現するか。これはイタリア料理の知識を持つ日本人でないとできません」と徳吉氏。「昔の形に戻すか迷いましたが、今は『ベントーテカ』の形態を楽しんでいます。お客さんが入りきれないので、今後の抱負は店の拡大です」。徳吉氏の快進撃は続く。(田中美貴)

# Italy



1 ベントーテカのユニークなロゴ 2 徳吉氏のこだわりを尽くして2020年に改装した店内 3 ラーメンにもイタリアの食材が生かされている 4 良質な牛タンを使ったカツサンド。牛の絵が描かれた皿で提供 5「海外でやっていくには、何より言葉を覚えることが大事」と徳吉氏 写真：1・2・5 © Bentoteca Milano、3・4 © CineFood



## イタリア海外引越

イタリア国内、欧州内はもちろん、  
世界に広がるネットワークでお客様の海外引越をサポート

**Nippon Express (Italia) S.p.A.**  
via Londra 12 Segrate 20090 (MI)

当社の引越しは  
日本だけではありません！

**NXイタリア (旧・イタリア日本通運)**

**TEL: +39-02-21698-972**

● 事務所移転もおまかせ

[www.nipponexpress.com/moving/it](http://www.nipponexpress.com/moving/it)

[NEIT-MILAN.REMOVALS@nipponexpress.com](mailto:NEIT-MILAN.REMOVALS@nipponexpress.com)





今月の1本



# Domaine André et Mireille Tissot, Château-Chalon Vin Jaune

ドメーヌ・アンドレ・エ・ミレイユ・ティソ、シャトー・シャロン・ヴァン・ジョーヌ（白ワイン）



フランスのジュラ地方は、ブルゴーニュの東部とスイスとの間の山間部にある、長さ80キロメートルの小さなワイン産地。冷涼な高山性気候ですが、ブドウ畑の多くは日当たりの良い南、南西向きの斜面にあります。この地で造られるイエローワインと呼ばれるヴァン・ジョーヌ（仏語で黄色の意）は、他では見られない特別なワイン。

7つあるAOC（原産地呼称保護）のうち、このワインの生産が認められているのはシャトー・シャロン（発祥の地で最高品質、1936年AOC取得）、アルボワ、コート・ド・ジュラ、レトワールの4つ。使うブドウは白ワイン用、土着品種のサヴァニャン（ジュラの泥灰岩土壌と好相性、酸と糖が豊富）。

通常の白ワインと同じ工程で造られたワインを、規定により6年3カ月オーク樽で熟成（この間蒸発による目減り分の補充は禁止）。樽内でワインの表面に出来た酵母

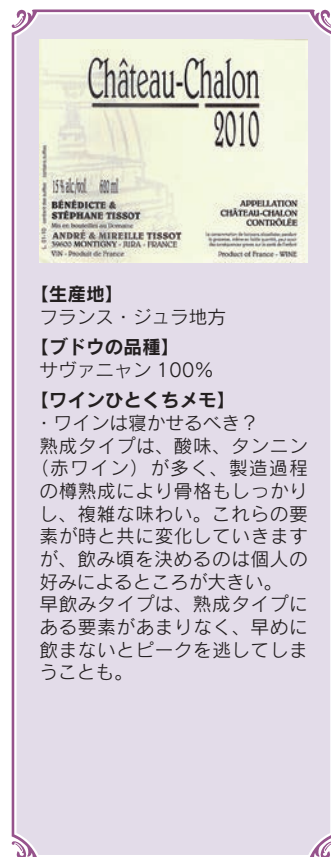
の膜（シェリー酒のフロールと同じ役割）により少しずつ酸化熟成し、黄色味を帯び、シェリー酒のような風味も付いて仕上がったワインは、豊かな酸とミネラルを含む力強い極辛口となり、中には50年以上の熟成に耐えるものも。

今回ご紹介するのは、1962年に設立し、今ではジュラを代表する造り手となったドメーヌ・アンドレ・エ・ミレイユ・ティソ。とても陽気な人柄の3代目のステファン氏は、アルボワに居を構え、周辺のAOCに合計35ヘクタールの畑（ビオディナミ農法）を所有。丁寧かつ自然な手法で、テロワールに敬意を表し個性にも溢れた唯一無二のワインを造っています。

山吹色を帯びてきらきらと輝く黄金色。グラスからは柔らかな日差しをたくさん吸収したリネンの香りが漂います。レモンやカモミール、焼き立てのパンに、白トリュフやホワイトチョコレート。口に含んだ途端に弾けまくる、辛辣なほどの酸味はまさに、このワインの核。そしてオレンジリキュールやナッツにジンジャーブレッド、たんぽぽ茶の心地よい苦味と、次々に風味が押し寄せます。太陽をかじったらきつとこんな味、と思わずにはいられません。そのかけらは圧倒的なエネルギーを放ち、体内から明るく照らしてくれます。旨味を感じるフィニッシュは温かみのある余韻となり、どこまでもその後を追っていきたくります。

素晴らしい出来の2010年もの（89€）はまだまだ若く、少なくとも今後30年は熟成過程を見ていきたいワインです。

（鈴木 かつみ）



## 【生産地】

フランス・ジュラ地方

## 【ブドウの品種】

サヴァニャン 100%

## 【ワインひとくちメモ】

・ワインは寝かせるべき？

熟成タイプは、酸味、タンニン（赤ワイン）が多く、製造過程の樽熟成により骨格もしっかりし、複雑な味わい。これらの要素が時と共に変化していきますが、飲み頃を決めるのは個人の好みによるところが大きい。早飲みタイプは、熟成タイプにある要素があまりなく、早めに飲まないといくを逃してしまふことも。

## 安心できる引越しをサポート致します ポルトガル 海外引越



リスボン支店 TEL +351-21-842-9520 FAX +351-21-847-4973 担当 Miguel Estopa (英語可)

オポルト支店 TEL +351-22-947-9500 FAX +351-22-941-6791 担当 Maria João Fonseca (英語可)



Nippon Express Portugal, S.A

日本語でのお問い合わせはNXスペイン（旧・スペイン日通）バルセロナ支店まで  
TEL +34-93-552-2988 FAX +34-93-262-3130





なるほど!  
ヘルシーライフ  
Vol.31

## 新たな年に新たな目標を

日本では年末になると大掃除（煤払い）で新年を迎える準備をしますが、  
一年を振り返って、頭の中も整理整頓してみてもいいかもしれません。  
よりクリアに物事が見えるようになれば、目的地を見失わずに進むことができます。

< Text by 徳永 ゆり子 >

### 目標は達成するもの

年末年始は一年の終了とスタートの節目となるため、新たな目標を設定するのに最適です。もし今までの生活に改善点が見つかれば、何かを改善することもちろん目標の対象になります。車で移動する際、GPSに行き先を登録するのと同じで、どうやってどこに到達するかなど、必要な情報を揃えれば、道に迷うことなく最短距離で目的地に到着できるルートを選ぶことができます。

さらには、スケールの大きさに関わりなく本当に望むことも目標に加えて、夢の実現に向かって取り組むのが理想的です。

### 物事の受け止め方で異なる結果を得る

前向きな思考や幸せな気分は、脳神経細胞（ニューロン）を活性化させ、脳神経のネットワークを健康で丈夫なものにします。逆に、ストレスや恐怖の念などは神経網を弱くやせ細ったものにしてしまいます。そのため、否定的な感情や思考を最小限に留められるよう脳を訓練することは、健康法として大いに有効です。脳には外界の状況がわからないため、全く同じ状況にいても、受け止め次第で体内に送られる信号は大きく異なったものになります。もし、頭の中を心配ごとやストレス感などで埋めてしまうと、物事が否定的なフィルターを通して翻訳され、その情報が全身に送られます。意識を切り替えて希望や幸せ感に焦点を当てると、気分も良くなり、な

ぜか良いことが起き始めます。スピリチュアルの世界では、これを「引き寄せの法則」と呼んでいます。人体の仕組みについては未だに新たな発見が続いていますが、科学の領域では、脳に秘められた未知数などが「ニューロサイエンス」として研究されています。

### 目標と人生のクオリティ

脳は司令塔となってあらゆる機能をコントロールするため、意識や思考回路を健康に保つことは、心身共の健康促進に欠かせない要素です。もし家族や友人など誰かと共通の目標を設定すれば、お互いが助けることや助けられることを学ぶというおまけも付いてきます。新年を機に大小いくつかの目標を立てて、それらに基づく選択を行いながら一年を過ごしてみてもいいかもしれません。目標の対象は何でもいいのですが、できれば最低1つ、誰かを助けたり何かに貢献することも加えるのがお勧めです。時には迷いを振り払ってジャンプすることも必要ですが、うまくいかないこともあります。失敗は学びのプロセスだと受け止めて、反省点を改善しながら前進し続けるのが理想的です。目標と到達までのプロセスを明確にして、充実した一年をお過ごしください。



## 欧州生向けオンラインコース新学年度2月1日開講!

～帰国枠入試に合わせた充実したコース設定～

### <開講コース>

- 小1～小6 【標準コース】 国語・算数
- 小4～中3 【受験コース】 国語・算数/数学・英語・理科・社会
- 小6 【受験基礎コース】 国語・算数・英語
- 中3～高3 【高校部コース】 数I～数III・小論文・英文翻訳
- オプション 難関中対策算数、難関高対策英語、英検対策(2級、準1級、1級)
- その他 【英語個別指導コース】 インター校の英語ほか教科指導

1月中、体験授業実施!

ご希望の方は、ホームページの「無料体験授業」欄よりお申し込みください。

\*各クラスとも定員になり次第締め切らせていただきます。  
\*授業の日時、コース詳細やお申し込み方法などはホームページにてご確認ください。



JOBA International London 1F Lawford House, Albert Place, Finchley, London N3 1QA U.K.

Tel: +44 20 8343 4332 joba-uk.jolnet.com

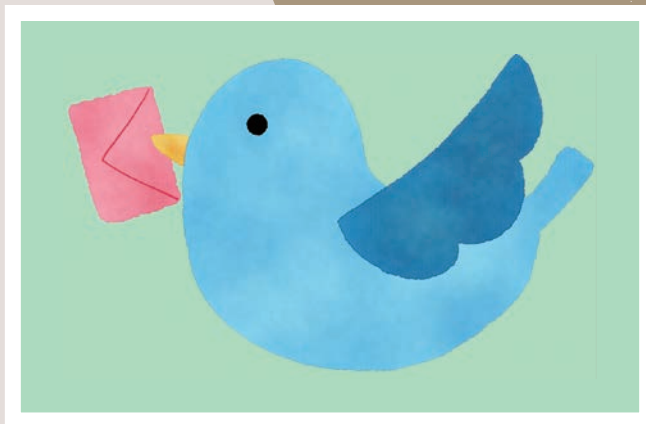




(ヨーロッパでの暮らしの中で不思議に思いつつ、人に聞けなかった“素朴な疑問”に答えていくシリーズ)

## ど存じですか?

28



### 郵便制度のはじまり

手紙、葉書、小包など、私たちの日常生活に欠かせないのが郵便。今回は郵便制度の始まりについて取り上げてみましょう。

文字が書かれた書簡を運んでメッセージを伝えるというコミュニケーション方法は、文字が使用されるようになった太古から用いられてきました。古代エジプトでは、紀元前 3000 年頃から伝書バトを使った伝達方法が行われていたといわれます。古代エジプト王が公認配達人を使って書簡を運んでいたという記録も残っているそうです。

紀元前 6 世紀頃のアケメネス朝古代ペルシア帝国では、大王キュロス 2 世が王のメッセージを国民に届ける制度を確立するよう命令。後の大王ダレイオス 1 世の時代に、「王の道」という公道に沿って宿駅が築かれ、馬を交代することで迅速に手紙を運ぶことが可能になりました。これに倣って、古代ローマでもメッセージや税金の移動を行うため、皇帝アウグストゥスが国営の伝馬制度を整えました。

中世では、多くの宗教団体がそれぞれ独自の飛脚制度を持っていたとされます。13 世紀のイタリアでは、ミラノとヴェネツィア、ローマを結ぶベルガモ飛脚と呼ばれる郵便制度が発達。さらに 15 世紀の神

聖ローマ帝国で、マクシミリアン 1 世が、ベルガモ飛脚を組織したタシス家に郵便網の拡大を命じました。これが近代郵便制度の始まりといわれています。これを機に、欧州各国で郵便網が確立していきました。

イギリスでは、1840 年にローランド・ヒルが、国内の重さ 0.5 オンスまでの一般郵便に対して 1 ペニーの均一郵便料金を課すことを提案、それまで受取人が支払っていた郵便料金は差出人が支払うことになり、「ペニー・ブラック」と呼ばれる世界最初の郵便切手が導入されました。19 世紀末頃のイギリス都市部では、毎日 7 回も郵便の集配が行われていたそうです。

やがて、交通機関の発展と共に、郵便の手段も馬車から鉄道、自動車、船、飛行機へと変化していきました。

現在では、国営事業だった郵便制度が民営化された国も多く、E メールや携帯電話、SNS の普及により、手紙で連絡を取り合うことは減ってきました。一方で、オンラインショッピングによる商品の配送は増加し、依然として郵便はなくてはならない存在であり続けています。

(名取 由恵)

**JSTV** 海外でも日本のテレビ!

2022年も

# 日本のテレビ

日本のニュース、ドラマ、バラエティー、子供番組など放送中!

インターネットで視聴! スマホやPCで!

1ヶ月毎の契約もOK!

安心して楽しめる合法的なサービスです  
NHK、民放、各種権利団体から正式に許諾を受け放送しています

お申込みは  
今すぐ!

作・三谷幸喜  
主演・小栗旬 ー北条義時ー

2022年 大河ドラマ

## 鎌倉殿の13人

1月9日(日)スタート

新部鎌倉を舞台に  
繰り広げられるパワーゲーム!

©番組内容や放送日等は変更されることがあります

[www.jstv.co.uk](http://www.jstv.co.uk)

Tel. +44 20 7426 7330  
[月~金 10:00~17:00(CET)]

**NHK CosmoMedia Europe**



日本の物流業の発展の歩みと共に、長い間ご愛顧いただいていた日本通運の **通** マーク。ここに込められてきた誇りと責任、積み重ねてきた知恵と技、社会から頂いた信頼をすべて「NX」というブランドに引き継ぎ、これからも自らを進化させ続けながら、グループ全従業員一人ひとりの力を結集して、お客様・産業・社会を支える力として行動してまいります。今後は、現在の通称「日通」から、「NX」ブランドとして、未永く皆様に親しんで頂けるよう浸透を図ってまいります。なお、ブランド導入の過程で新旧のデザインが混在しますことをあらかじめご了承下さい。

## 忙しいご帰国前こそ、NX（旧・日通）にお任せください

帰国前のご多忙な時でも、慌てる必要はありません。NXは、梱包からお引越先でのお荷物搬入までお客様に代わって作業いたします。

## 日本での引越もNXグループがお世話致します

ヨーロッパから日本に着いたお荷物は、日本のNXグループの引越専任スタッフが責任を持って配達いたします。東京、名古屋、大阪（神戸）、福岡の各支店から日本全土にお届けします。

## 日本人スタッフの立会いで安心度満点

引越では作業完了まで必ず日本人スタッフが立会い、梱包状況を確認するなど作業を指揮いたします。

## 目的に応じた梱包資材をご用意

衣類用のハンガーカートン、ゴルフカートン、ワイン用カートンをご用意しています。それぞれに最も適した梱包資材で運ぶことによって、お荷物をいたわります。

## 各国内引越・欧州内引越も承ります

海外引越だけではなく、各国内引越、欧州内引越、家財保管もご安心してお任せください。

## きめ細かなサービスが自慢です

日本のご実家にお荷物を残して赴任されていた場合、帰国後の日本での引越に先立ちNXがご実家へ下見に参ります。引越の際はご実家からのお荷物と海外から送られてきたお荷物が同日に着くようにも手配いたします。

昨年とは格別のご厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。  
本年も、みなさまにご満足いただけるサービスを心がける所存でございます。  
引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 謹賀新年

### 引越のご用命は次の事務所へどうぞ

■ イギリス（国番号 +44） / アイルランド  
ロンドン & グラスゴー、ダブリン  
.....(0)20-8737-4200  
マンチェスター .....(0)161-436-7500  
ニューカッスル .....(0)191-519-7950  
イーストミッドランド  
.....(0)1332-850-770  
■ イタリア（+39）  
ミラノ .....02-21698-972

■ オランダ（+31）  
アムステルダム .....(0)20-5005200  
■ スイス（+41）  
チューリッヒ .....(0)44-836-9966  
ジュネーブ .....(0)22-929-0310  
■ ドイツ（+49）  
デュッセルドルフ .....(0)211-90495-0  
フランクフルト & シュトゥットガルト  
.....(0)69-68974-584  
ハンブルグ .....(0)40-73112-194  
ミュンヘン .....(0)89-37426-353  
■ オーストリア（+43）  
ウィーン .....(0)1-7007-35411

■ フランス（+33）  
パリ .....(0)1-4184-6350  
■ ベルギー（+32） / ルクセンブルグ  
ブリュッセル .....(0)2-7517814/5  
■ スペイン（+34）  
マドリッド .....91-748-0862  
バルセロナ .....93-552-2986  
■ ポルトガル（+351）  
リスボン .....21-842-9520  
■ ハンガリー（+36）  
ブタペスト .....(0)29-553-807  
■ チェコ（+420）  
プラハ .....255-707-491

■ ポーランド（+48）  
ワルシャワ .....(0)22-878-3208  
■ ケニア（+254）  
ナイロビ .....(0)20-4938310  
■ トルコ（+90）  
イスタンブール .....(0)212-465-6934  
■ アラブ首長国連邦（+971）  
ドバイ .....(0)4-282-0417  
■ ロシア（+7）  
モスクワ .....(0)495-609-6023  
サンクトペテルブルグ  
.....(0)812-335-7626